

塾生募集

野菜づくりをめざす仲間と楽しく学びませんか！

第10期 みないき農業塾

令和4年4月開講 塾生募集要項

農業は、農家の高齢化による担い手不足やそれに伴う耕作放棄地の増加などが起きており、地域でこれらの課題解決が求められています。

一方、人生100年時代と言われる今、これからの人生を有意義に過ごしていくため、農業が脚光を浴びています。「健康を維持しながら楽しく快適に暮らしたい」、「知識や技術を生かして何らかの形で社会的に意義ある活動をしたい」、「自己実現したい」と望んでいる元気な人が多くおられます。みないき農業塾で野菜づくりを学ぶことはその入り口かもしれません。ぜひ、一緒に学びませんか？

みないき農業塾はこんな塾です

特徴 1. 豊かな自然環境の中での農業実習

堺市南区にある実習圃場は約30アールの広さ。
四季の自然を肌で感じながら、楽しく実習ができます。

特徴 2. 充実した内容の講座と実習

講座と実習を重ね、有機栽培を中心とした安全で安心なおいしい野菜づくりを実践的に学べます。講座では資料を配布します。

特徴 3. 経験豊富な講師陣による指導

豊富な経験による親切できめ細かな指導が受けられます。

特徴 4. 皆で楽しく生き生きと！

農業塾OB（アシスタント）とともに野菜づくりを楽しみながら、学べます。播種や苗の定植・栽培などを実地指導します。

特徴 5. 修了後も続く「仲間づくり」を支援

堺市や地元営農組合などと連携し新規就農への橋渡しをします。修了者のネットワーク、野菜の販売ルートの開拓など、これからにつながる活動を応援します。

特徴 6. 農業技術の向上を支援

農業塾終了後、有志の方はアシスタントとして参加いただくことで更に技術をアップさせることができます。



みないき農業塾で栽培した野菜は、鉢ヶ峯フラワー農園コスモス館や野菜直売所ハーベストの丘「またきて菜」などで販売しています。また、堺市農業祭などにも参加しています。

Facebookもチェック 



入塾説明会を開催します！

3月9日（水）10:00-12:00

堺市南区役所にて <要申込>



堺市南部丘陵の自然の中で
楽しく、学ぶ。

「みないき農業塾」に寄せて

堺市 南区長 佐小元士

堺市南区に広がる豊かな田畑や農地は、大切な地域の資源です。

「みないき農業塾」では、この豊かな自然環境の中での農業実習と講座を通じて、基礎から実践的な野菜作りまでを学ぶことができると思います。

安全・安心で、おいしい野菜作りを楽しんでいただくとともに、塾生同士の交流と親睦を深められ、充実した1年となることを期待しております。

主催：南いきいきファーム推進会

（構成者）

農家・畑まちづくり委員会・堺市長峰営農組合・市民団体農家・堺市・一般社団法人堺南すこやかファーム推進会

（実習場所）堺市南区畑568-3

お問い合わせ先

南いきいきファーム推進会（事務所）

〒590-0114 堺市南区榎塚台3-1-7

（E-mail）mif@poppy.ocn.ne.jp

（電話）080-3430-4511（柴田）

第10期塾生を募集します！

※ 講座・圃場場所は裏面をご覧ください。

- 18才以上で農業の知識や技術を高めたい方
- 新規就農をめざしている方
- 家庭菜園・市民農園などでの野菜づくりに興味がある方

募集定員：30名

学費：30,000円

「みないき農業塾受講申込書」に必要事項をご記入いただき、**2月1日(火)～3月18日(金) <必着>**で、「南いきいきファーム推進会」まで郵送・電子メール・FAXのいずれかでお申し込みください。

開講後の途中入塾については随時ご相談に応じます。

講師プロフィール

野口 元

36年間、大阪府の農業改良普及員として勤務。現地指導ならび専門技術員（野菜）として指導員を育成指導。貴重な経験によるきめ細かな栽培指導にご期待ください。

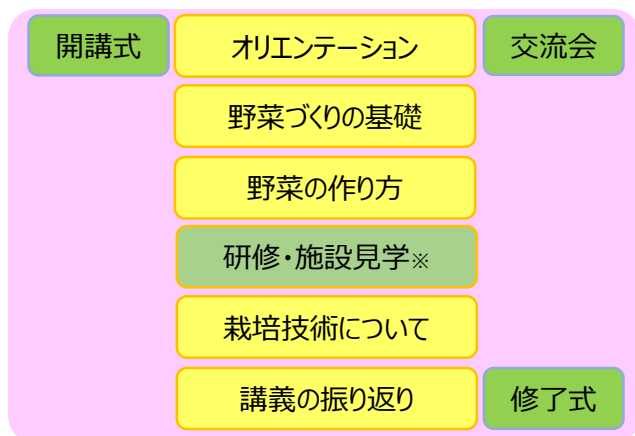
北野 裕士

元大阪府農業普及員として農家を指導してきました。現在、大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校でも指導されています。当塾では、圃場での実習を担当します。

充実した講座・実習および曜日班管理作業で野菜づくりを学びます

講座

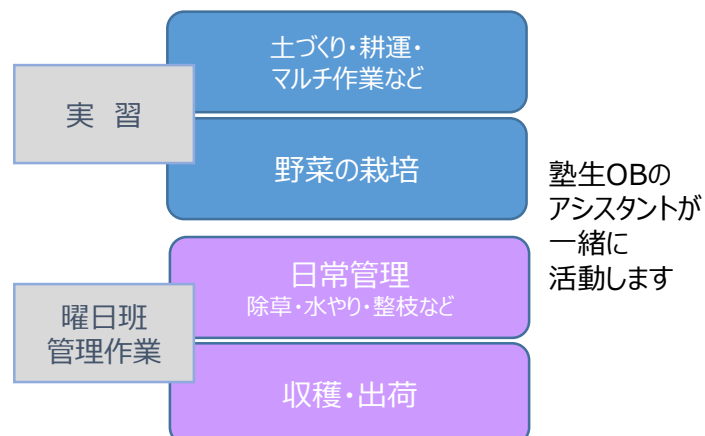
<全12回 堺市南区役所会議室 ほか>



※ 農業関連施設や農家さんの見学を予定しています

実習21回 および 曜日班管理作業 (週1日)

<堺市南区 塾圃場>



受講にあたって

申し込みにあたり、以下の内容を必ずご確認ください。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、休講あるいは開講日が延期となる場合があります。

- 「みないき農業塾」では、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを行っています。
- 学費は資料代などを含めて年間30,000円で一括納入とします。納入された学費は原則として返却いたしません。交通費・飲食代などは自己負担となります。
- 講座・実習に車で来られる方は駐車場代（1回100円）がかかります。ただし、曜日班管理作業時は原則不要です。
- **曜日班管理作業**として、施肥・種まき・苗定植・水やり・除草・収穫・水洗い・出荷調整などがあります。週に1日(半日程度)参加してください。講座、実習と曜日班管理作業はすべて必須科目ですので、個別に申し込むことはできません。
- 受講生の交流を深めることを目的とした「交流会」を開催します。参加費が必要ですが、大切なイベントですので、必ず参加してください。（詳細内容は入塾後に通知します）
- 講座は原則**10時～12時**です。実習と曜日班管理作業の時間帯は原則**9時～12時**です。都合により変更することがあります。その場合は事前に連絡します。
- 講座・実習・曜日班管理作業日の午前7時に堺市に気象警報が発令された場合は中止となります。それ以外で中止になる場合は事前に連絡します。
- **作業**は協働で行います。チームワークを重んじることを心掛けてください。
- **作業**では、ケガの発生などもあり得ますが、自己責任を原則とします。担当指導員の説明や注意事項を十分に理解して各自が**安全な服装と作業管理**を実施してください。
- 塾運営の財源を得るため、栽培した野菜は販売することとしています。野菜は試食用として持ち帰りができます。

★ ご不明な点は、お問い合わせ先までお気軽にお問い合わせください。

第10期 みないき農業塾 講座・実習 カリキュラム

【4月6日（水）交流会】 入塾を機会に皆さんの交流を深めるのが目的です。必ずご参加ください。（別途参加費必要）

【番号9・11】 研修①②は研究農場見学などを予定しています。開催場所は講座開始後に選定して決定します。

【実施時間】 講座： 原則10時～12時 実習： 原則9時～12時 曜日班管理作業： 原則9時～12時

※時間は都合により変更することがあります。その場合、事前に連絡します。

番号	区分	予定日	主な講座と実習カリキュラム 案
1	講座	4月 5日（火）	開講式 オリエンテーション
2	講座	4月 6日（水）	野菜作りの基礎（野菜の分類ほか） 交流会（午後0時半～2時半）
①	実習	4月 13日（水）	農業機械の使い方、耕起、畝立て、耕耘の実習、野菜類の播種
3	講座	4月 20日（木）	夏野菜の作り方 ～なす、トマト、きゅうり～
②	実習	4月 27日（水）	主な果菜類の作り方 施肥設計、施肥（堆肥施用と土壌改良）
③	実習	5月 4日（水祝）	果菜類の定植と栽培管理
④	実習	5月 11日（水）	輪作の考え方、野菜の育苗、農薬散布の実際
⑤	実習	5月 18日（水）	果菜類とさつまいもの定植、野菜の栽培管理ほか
4	講座	5月 25日（水）	土作りについて（土の性質、肥料、除塩対策など）
⑥	実習	6月 1日（水）	果菜類の定植後の栽培管理
5	講座	6月 8日（水）	大阪エコ農産物認証制度について
⑦	実習	6月 22日（水）	〃
⑧	実習	7月 13日（水）	太陽熱利用による土壌消毒
6	講座	7月 20日（水）	秋冬野菜の作り方Ⅰ ～キャベツ、はくさい、ブロッコリー、だいこん～
⑨	実習	8月 3日（水）	はくさい・キャベツ・ブロッコリーなどのアブラナ科野菜の播種
⑩	実習	8月 10日（水）	アブラナ科野菜の育苗。
7	講座	8月 17日（水）	秋冬野菜の作り方Ⅱ ～しゅんぎく、ほうれんそう、小松菜～
⑪	実習	8月 24日（水）	秋野菜圃場の施肥・畝立て・マルチ作業、だいこんの播種
⑫	実習	8月 31日（水）	アブラナ科野菜の定植ほか
⑬	実習	9月 7日（水）	〃
⑭	実習	9月 14日（水）	きゅうり支柱・ネット張り
⑮	実習	9月 28日（水）	しゅんぎく・ほうれんそう・小松菜・たまねぎの播種
⑯	実習	10月 5日（水）	アブラナ科野菜の病害虫防除、追肥
⑰	実習	10月 19日（水）	きゅうりの整枝、たまねぎの定植
⑱	実習	11月 22日（火）	堺市農業祭用野菜の収穫
⑲	実習	11月 23日（水祝）	堺市農業祭（野菜の販売）
8	講座	12月 7日（水）	環境にやさしい栽培技術（有機農業などについて）
9	講座	1月 18日（水）	研修① 大阪公立大学植物工場見学（予定）
10	講座	1月 25日（水）	講座の復習 ～野菜の作り方についての復習～
11	講座	2月 1日（水）	研修② 農家法人を予定
⑳	実習	2月 15日（水）	秋・冬野菜の片づけ、じゃがいもの定植
㉑	実習	3月 1日（水）	次年度の作付け体系（案）の策定、春野菜の栽培準備
12	修了式	3月 15日（水）	修了式（講座のふり返りと意見交換）

（注） **講座、実習そして曜日班管理作業のそれぞれ2／3以上参加された方に「修了書」を交付します。**

講座や実習の日程は、天候などにより変更することがありますので、予めご了承ください。

また、栽培する野菜品目は状況により、変更することがあります。

講座での基本知識、実習での栽培から出荷まで先生や先輩方のご指導をいただき、楽しく1年間学べました。今後「みないき農業塾」で学んだ技術を老後人生の目標として、近所の荒れ果てた畑を再生し、一つでも野菜を作り、農地維持に努めようと考えています。(辻本)

土作りから収穫・出荷まで、一通りの農業の流れを学ばせていただきました。たくさんの体験をさせていただき、大変勉強になりました。(大久保)

農業について、いろいろなことを学びました。曜日班管理作業では、作業を楽しむことができました。(U.M)

野菜作りの楽しさと大変さ、注意点や工夫の仕方なども学べました。圃場の管理や出荷の手間も必要な仕事ですね。経験したことをこれから活かせたらと思っています。(小田垣)

農業 (agriculture)とは、田 (ager)を耕す (culture)こと。大自然相手に田畑を耕すだけでは思うように作物収穫できないことがわかりました。農業塾での経験をこれからの人生に活かしたいと思います。(成田)

野菜を育てる大変さを知りました。収穫は楽しく、甘くて美味しい野菜の味を知りました。先輩の経験談をお聞き楽しかったです。(長阪)

今まで適当な野菜作りでした。基礎を学び、少しだけ自信が持てるようになりました。(梶田)



野菜作りの基礎知識を学び、健康作りのために受講しました。体系的な学びを家庭菜園に活かしていきたいと思っています。(和田)

プランターでの家庭菜園から、みないきの畑への野菜作りのスケールが広がり、ハウスや畑での栽培体験ができました。一度にたくさんの収穫、野菜にあった袋詰めなど出荷作業の体験は楽しかったです。(村田)

飲食店を経営しており、食材がどのように育てられているかを学びたく参加させてもらいました。普段何気なく買っている野菜が我々に届くまでに農家の方々が様々な工夫や努力をしている事を知れて、有意義な1年を過ごす事ができました。(中野)

農業初体験、たくさんのことを学習できました。野菜の生育の神秘に魅了されると同時に、雑草と虫の生命力を疎ましく思いました。(上田)

自然豊かな環境の恵みに触れながら研修を受け、野菜栽培の思いがさらに強くなりました。農業の仲間も増え、楽しい時間が過ごせました。(湯井)

みないき農業塾は、地域での農業活動を通じて持続可能な社会を目指します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



みないき農業塾でめざすSDGsゴール

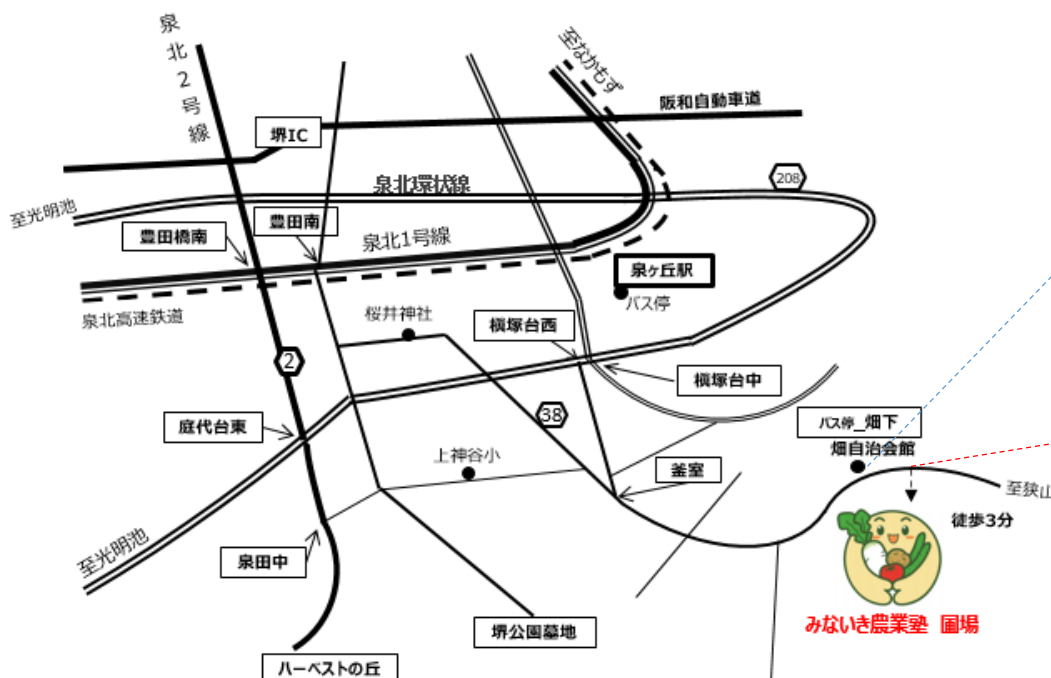


SDGsとは…「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに達成する目標です。「17の目標 (ゴール)」と「169のターゲット (具体目標)」で構成されています。

アクセス

講座：堺市南区役所 会議室 泉北高速鉄道「梅・美木多」駅より徒歩約3分。駐車場があります。

実習場所(圃場)： 堺市南区 畑 (はた) 地区 南海バス停「畑下」より徒歩約3分。駐車場があります。



実習時は圃場より250m手前の畑自治会館駐車場に駐車してください (駐車許可証が必要)



圃場の入口付近。横塚台西交差点から府道38号を南へ2.4km約進み右折

